

【問1】

医薬品の本質に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品は、多くの場合、人体に取り込まれて作用し効果を発現させるものである。
- b 医薬品は、人体に直接使用されない限り、人の健康に影響を及ぼすおそれはない。
- c 一般用医薬品は、市販後は原則として、その有効性、安全性等を確認することはない。
- d 医薬品は、人の生命や健康に密接に関連するものであるため、高い水準で均一な品質が保証されなければならない。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	正	正	誤
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	誤	正
5	誤	誤	正	正

【問2】

医薬品の副作用に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品を十分注意して適正に使用した場合は、副作用が生じることはない。
- 2 特段の不都合を生じないものであっても、主作用以外の反応であれば、通常、副作用として扱われる。
- 3 我が国では、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法で「疾病の予防、診断、治療のため、又は身体の機能を正常化するために、人に通常用いられる量で発現する医薬品の有害かつ意図しない反応」を医薬品の副作用と定義している。
- 4 複数の疾病を有する人の場合、ある疾病のために使用された医薬品の作用が、その疾病に対して薬効をもたらす一方、別の疾病に対しては症状を悪化させることがある。

【問3】

医薬品の副作用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用は、「薬理作用による副作用」と「アレルギー（過敏反応）」に大別される。
- b 医薬品の作用は未知の部分も多く、これまでに報告がない副作用が生じる可能性がある。
- c アレルギーは、内服薬だけでなく外用薬でも引き起こされることがある。
- d アレルギー症状は、体の各部位に生じる炎症で、結膜炎症状、鼻炎症状及びかぶれ等の症状が多く見られる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	正	正	正
3	誤	正	誤	正
4	誤	誤	正	誤
5	正	正	誤	正

【問4】

アレルギーに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 鶏卵や牛乳にアレルギーがある人は、医薬品に対しても注意が必要な場合がある。
- b アレルギーには体質的・遺伝的な要素はない。
- c 基本的に薬理作用がない添加物は、アレルギーを引き起こす原因物質とならない。
- d 普段、医薬品にアレルギーを起こしたことがない人でも、病気等に対する抵抗力が落ちている状態などの場合には、医薬品がアレルゲンになりやすくなる。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	正	誤	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	誤	正	誤
5	正	正	誤	正

【問5】

一般用医薬品に関する以下の記述について、（ ）の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

一般用医薬品は、軽度の疾病に伴う症状の改善等を図るもので、（ a ）の判断で使用するものであり、副作用等の兆候が現れたときには基本的に（ b ）とされている。

	a	b
1	医師	医師や薬剤師などに相談すること
2	医師	使用を中止すること
3	一般の生活者が自ら	使用を中止すること
4	一般の生活者が自ら	医師や薬剤師などに相談すること
5	薬剤師	医師や薬剤師などに相談すること

【問6】

酒類と医薬品の飲み合わせに関する以下の記述について、（ ）の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

酒類は、主として（ a ）で代謝されるため、酒類をよく摂取する者では、その代謝機能が（ b ）いることが多い。

その結果、アセトアミノフェンなどでは、通常より代謝され（ c ）なる。

	a	b	c
1	肝臓	高まって	やすく
2	肝臓	低下して	やすく
3	肝臓	低下して	にくく
4	腎臓	高まって	にくく
5	腎臓	低下して	やすく

【問7】

医薬品の相互作用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 食品であっても、医薬品の成分と同じ物質を含むものもある。
- b かぜ薬は、アレルギー用薬と成分や作用が重複することが多い。
- c 一般的に「痛み止め」と「熱さまし」は、相互作用を起こしにくい。
- d 貧血用薬は、緑茶、紅茶、コーヒーなどと相互作用を起こすことがあるため、服用前後はそれらの摂取を控えることとされている。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	正	正	誤	正
3	誤	正	誤	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	正	正

【問8】

医薬品と他の医薬品や食品との相互作用に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 通常、同じ薬効成分が重複しなければ、相互作用は発生しない。
- 2 相互作用には、医薬品が吸収、代謝、分布又は排泄される過程で起こるものと、医薬品が薬理作用をもたらす部位で起こるものがある。
- 3 相互作用によって医薬品の作用が増強することはあるが、減弱することはない。
- 4 保健機能食品は、医薬品と相互作用を起こすことはない。

【問9】

小児等の医薬品使用に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 医薬品の使用上の注意等において、乳児とはおおよその目安で3歳未満の年齢区分をいう。
- b 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が長いため、服用した医薬品の吸収率が高い。
- c 小児では、医薬品成分の代謝や排泄が速やかに行われるため、作用が弱まることもある。
- d 小児では、吸収され循環血液中に移行した医薬品成分が脳に達しやすい。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

【問10】

小児に医薬品を使用する場合の注意事項に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 小児へ医薬品を与える場合は、成人用の医薬品の量を減らして与える必要がある。
- b 乳児向けの用法用量が設定されている医薬品であっても、乳児は医薬品の影響を受けやすく、一般用医薬品の使用の適否が見極めにくいいため、基本的には医師の診療を受けることが優先される。
- c 乳幼児の一般用医薬品による誤飲・誤用事故の場合には、応急処置等について関係機関の専門家に相談することが望ましい。
- d 小児への使用を避けることとされている医薬品の販売に際しては、購入者から想定される使用者等の状況を聞くなどしたうえで、積極的な情報提供を行うことが必要である。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	正	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	正	誤	正	正
5	正	誤	誤	誤

【問11】

次の記述は一般用医薬品の使用に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 高齢者であっても基礎体力や生理機能の衰えは個人差が大きいため、実際にその医薬品を使用する高齢者の個々の状況に即して、情報提供や相談対応を適切に行うことが重要である。
- b 一般用医薬品の用法用量は、使用する人の生理機能の個人差をある程度見込んで設定しているので、高齢者であっても基本的には定められた用量の範囲内で使用されることが望ましい。
- c 嚥下障害とは、医薬品の副作用で口渇を生じることをいう。
- d 用法用量どおりに使用すれば、基礎疾患の症状の悪化や治療の妨げとなることはない。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

【問 1 2】

次の記述は、妊婦及び妊娠していると思われる女性に対する医薬品の使用に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 胎盤には胎盤関門があるため、母体が医薬品を使用しても胎児には影響がない。
- b ビタミンA含有製剤は、妊娠前後の一定期間に通常の用量を超えて摂取すると、胎児に先天異常を起こす危険性が高まる。
- c 便秘薬の配合成分、用量によっては、流産や早産を誘発するおそれがあるものがある。
- d 塩酸ジフェンヒドラミンは、妊娠期間の延長等のおそれがあるため、出産予定日15週以内の服用は避ける。

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

【問 1 3】

医療機関で治療を受けている人の一般用医薬品の使用に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 慢性疾患の種類や程度によっては、一般用医薬品の有効性や安全性に影響を与える要因となることがある。
- b 登録販売者は、一般用医薬品と医療用医薬品との併用の可否を判断することは困難なことが多いため、その併用については医師、薬剤師等に相談するよう説明する必要がある。
- c 高血圧の治療を受けている人が鼻炎用点鼻薬を使用した場合、交感神経興奮作用により血圧を必要以上に下げてしまうおそれがある。
- d 肝臓病の治療を受けている人は、小柴胡湯^{しょうさいこうとう}の服用により間質性肺炎の副作用が現れやすい。

- | | a | b | c | d |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 正 | 誤 | 誤 | 正 |
| 2 | 誤 | 正 | 正 | 誤 |
| 3 | 誤 | 正 | 誤 | 誤 |
| 4 | 正 | 正 | 誤 | 正 |
| 5 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |

【問 1 4】

第 1 欄の記述は医薬品の作用に関するものである。() の中に入れるべき字句は第 2 欄のどれか。なお、2 箇所() 内はどちらも同じ字句が入る。

第 1 欄

医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じることが() 効果という。() 効果は、医薬品を使用したこと自体による楽観的な結果への期待や、条件付けによる生体反応、時間経過による自然発生的な変化等が関与して生じると考えられている。

第 2 欄

- 1 プロドラッグ
- 2 アルサス
- 3 ホメオスタシス
- 4 プラセボ
- 5 タキフィラキシー

【問 1 5】

医薬品の品質に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 医薬品は、適切な保管・陳列をすれば品質の劣化は起こらない。
- 2 表示されている使用期限は、いったん開封して保管してもその品質を保証する期限である。
- 3 医薬品は、高い水準で均一な品質が保証されているので、保管温度の管理は不要である。
- 4 一般用医薬品は、購入後すぐに使用されとは限らないことから、使用期限から十分な余裕を持って販売する必要がある。

【問16】

医薬品の販売時に購入者から確認しておきたい事項に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a その医薬品を使用するのは購入者自身か、又はその家族等のために購入するの
か。
- b その医薬品を使用する人として、小児や高齢者等が想定されないかどうか。
- c その医薬品を使用する人は、過去にアレルギーの経験があるか。
- d その医薬品がすぐに使用される状況にあるか。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	正
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	正
4	正	正	正	誤
5	正	正	正	正

【問17】

セルフメディケーションに関する以下の記述について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a WHOによれば、セルフメディケーションとは、「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする」こととされている。
- b セルフメディケーションとは、積極的に一般用医薬品を使用して疾病の治療を行うことである。
- c 症状が重いときに一般用医薬品を使用することは認められていない。
- d 一般用医薬品の販売などに従事する専門家は、購入者に対して常に科学的な根拠に基づいた正確な情報提供を行い、セルフメディケーションを適切に支援していくことが期待されている。

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

【問 1 8】

薬害に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 医薬品の副作用は、科学的に解明されており、医薬品を十分注意して使用すれば薬害が起こることはない。
- b 過去に薬害の原因となったキノホルム製剤については、一般用医薬品として販売されたものはないが、一般用医薬品の販売等に従事する者においては、薬害事件の歴史を十分に理解し、安全性の確保に努めることが必要である。
- c C J D 訴訟を契機として、2002年、医薬品の副作用による健康被害の迅速な救済を図るため、医薬品副作用被害救済制度が創設された。
- d 医薬品の副作用等による健康被害の再発防止に向け、製薬企業に対し副作用報告に加えて感染症報告も義務付けられている。

	a	b	c	d
1	正	正	誤	正
2	誤	正	誤	誤
3	誤	誤	正	正
4	正	誤	正	誤
5	誤	誤	誤	正

【問 1 9】

薬害に関する以下の記述について、正しいものはどれか。

- 1 スモン訴訟は、風邪薬として販売されていたキノホルム製剤を使用したことによる薬害事件である。
- 2 スモンは、その症状として、認知症に類似した症状が現れ、死に至る重篤な神経難病である。
- 3 サリドマイド製剤は、催眠鎮静剤等として販売され、妊娠している女性が使用したことによって被害が拡大した。
- 4 サリドマイド製剤については、1961年11月、西ドイツのレント博士がその服用による催奇形性について警告を発したため西ドイツで製品が回収され、我が国でも同時に回収措置が講じられた。

【問 2 0】

次の記述はH I V訴訟に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 血友病患者が、H I Vが混入した血液を輸血されたことにより、H I Vに感染したことに對する損害賠償訴訟である。
- b 本訴訟の和解を踏まえ、国は、H I V感染者に對する恒久対策として、エイズ治療研究開発センター及び拠点病院の整備や治療薬の早期提供等の様々な取組みを推進してきている。
- c 本訴訟を契機として、献血時の問診の充実が図られた。
- d H I Vとは、I型肝炎ウイルスを総称した名前である。

- 1 (a、 b) 2 (a、 d) 3 (b、 c) 4 (c、 d)

【問 2 1】

次のかぜ薬の成分の中で、15歳未満の小児で水痘（水疱瘡）又はインフルエンザにかかっているときは使用を避ける必要がある成分はどれか。

- 1 アセトアミノフェン
- 2 サリチルアミド
- 3 リン酸ジヒドロコデイン
- 4 塩酸ブロムヘキシン
- 5 塩化リゾチーム

【問 2 2】

次の解熱鎮痛成分の中で、一般用医薬品では、小児に對してはいかなる場合も使用しないこととなっている成分はどれか。

- 1 アスピリン
- 2 アセトアミノフェン
- 3 サリチルアミド
- 4 イソプロピルアンチピリン
- 5 エテンザミド

【問 2 3】

抗コリン成分として、くしゃみや鼻汁を抑える働きをする成分はどれか。

- 1 塩化リゾチーム
- 2 塩酸プソイドエフェドリン
- 3 ヨウ化イソプロパミド
- 4 リン酸コデイン
- 5 ブロメライン

【問 2 4】

次の成分のうち、抗ヒスタミン成分はどれか。

- 1 グアイフェネシン
- 2 塩酸クロペラスチン
- 3 塩酸ブロムヘキシン
- 4 臭化水素酸デキストロメトルファン
- 5 フマル酸クレマスチン

【問 2 5】

次の成分のうち、フィブリノゲンやフィブリンを分解する作用があるので、血液凝固異常の症状がある人は、注意が必要な成分はどれか。

- 1 トラネキサム酸
- 2 塩化リゾチーム
- 3 ブロメライン
- 4 ノスカピン
- 5 グリチルリチン酸二カリウム

【問 2 6】

次の漢方処方製剤のうち、その成分にマオウを含み、まれに重篤な副作用として、肝機能障害を生じるものはどれか。

- 1 小柴胡湯しょうさいことう
- 2 小青竜湯しょうせいりゅうとう
- 3 桂枝湯けいしとう
- 4 麦門冬湯ばくもんどうとう
- 5 麻黄湯まおうとう

【問 2 7】

プロスタグランジンに関する以下の記述のうち、正しい組み合わせはどれか。

- a 解熱鎮痛成分（アセトアミノフェンを除く。）は、中枢でのプロスタグランジンの産生を増加させて、腎臓での水分の再吸収を抑える。
- b 解熱鎮痛成分（アセトアミノフェンを除く。）は、末梢でのプロスタグランジンの産生を抑えて、腎臓の血流量を低下させる。
- c プロスタグランジンには、胃酸の分泌を調整する働きのほか、胃粘膜の保護に寄与する働きもある。
- d プロスタグランジンは、脳の下部にある温熱中枢に作用し、通常よりも体温が低く調節されるように働く。

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

【問28】

解熱鎮痛成分の作用に関する以下の記述について、正しい組み合わせはどれか。

- a アセトアミノフェンは、主として中枢作用により、解熱・鎮痛・抗炎症作用をもたらす。
- b アスピリンは、他の成分より胃腸障害が起こりやすい。また、血液を凝固させにくくさせる作用がある。
- c イブプロフェンは、主として、解熱・鎮痛作用をもたらすが、抗炎症作用は期待できない。また、プロスタグランジンの産生を亢進する作用により、胃・十二指腸潰瘍等の再発を招くおそれがある。
- d エテンザミドは、痛みの伝わりを抑える働きが優位とされる解熱鎮痛成分である。

	a	b	c	d
1	正	誤	誤	正
2	誤	正	誤	正
3	誤	正	正	誤
4	正	正	誤	誤
5	誤	誤	正	正

【問29】

鎮^{うん}暈薬に関する以下の記述のうち、正しい組み合わせはどれか。

- a 乗物酔い防止薬には、5歳未満の乳幼児向けの製品はない。
- b 乗物酔い防止薬には、局所麻酔成分が配合されている製品がある。
- c 乗物酔い防止薬には、中枢神経系を興奮させる成分が配合されている製品がある。
- d 乗物酔い防止薬には、抗コリン成分が配合されている製品はない。

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

【問 3 0】

香りにより健胃作用をもたらす成分はどれか。

- 1 オウゴン
- 2 オウバク
- 3 オウレン
- 4 センブリ
- 5 ユウタン

【問 3 1】

次の胃腸薬の成分のうち、アルミニウムを含むため、透析を受けている人は使用を避ける必要があるものはどれか。

- 1 ゲファルナート
- 2 テプレノン
- 3 ソファルコン
- 4 塩酸セトラキサート
- 5 アルジオキサ

【問 3 2】

次の成分のうち、胃粘膜保護・修復作用のある成分はどれか。

- 1 ウルソデオキシコール酸
- 2 デヒドロコール酸
- 3 メチルメチオニンスルホニウムクロライド
- 4 ジメチルポリシロキサン
- 5 グリチルリチン酸モノアンモニウム

【問 3 3】

腸の薬に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a タンニン酸アルブミンは、細菌性の下痢や食中毒に効果的である。
- b 次没食子酸^{もつしよくし}ビスマスは、腸粘膜のタンパク質と結合し、収斂^{れん}作用により炎症を鎮める。
- c 塩酸ロペラミドは、食あたりや水あたりによる下痢に効果的である。
- d クレオソートは、医薬品として使用されるのは、木クレオソートと石炭クレオソートがある。

	a	b	c	d
1	誤	正	誤	誤
2	正	誤	誤	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	正	正	誤
5	誤	誤	正	誤

【問 3 4】

次の成分のうち、まれに重篤な副作用としてアナフィラキシーショックを生ずる成分はどれか。

- 1 臭化メチルオクタトロピン
- 2 臭化メチルベナクチジウム
- 3 臭化ブチルスコポラミン
- 4 塩酸オキシフェンサイクリミン
- 5 塩酸ジサイクロミン

【問 3 5】

次の成分の中で、抗コリン作用により胃痛、腹痛等を鎮める効果のある成分はどれか。

- 1 塩酸パパベリン
- 2 アミノ安息香酸エチル
- 3 メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
- 4 オキセサゼイン
- 5 塩酸ジサイクロミン

【問36】

胃腸鎮痛鎮痙薬の抗コリン成分に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

これらの成分が (a) 神経系の働きを抑える作用は消化管に (b) 。

	a	b
1	交感	限定される
2	交感	限定されない
3	副交感	限定される
4	副交感	限定されない
5	中枢	限定されない

【問37】

駆虫成分に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- 1 パモ酸ピルビニウムは、回虫の呼吸や栄養分の代謝を抑えて殺虫作用を示す。
- 2 カイニン酸は、回虫に痙攣を起こさせる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。
- 3 サントニンは回虫の自発運動を抑える作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。
- 4 リン酸ピペラジンは、回虫の運動筋を麻痺させる作用を示し、虫体を排便とともに排出させることを目的として用いられる。

【問38】

コレステロールに関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 コレステロールは細胞の構成成分で、生体に不可欠な物質であり、主に腎臓で産生・代謝される。
- 2 コレステロールは血液中では血漿タンパク質と結合したり、リポタンパク質となって存在する。
- 3 低密度リポタンパク質は、コレステロールを腎臓から末梢組織へ運ぶ。
- 4 高密度リポタンパク質は、コレステロールを腎臓から末梢組織へ運ぶ。

【問 39】

次の成分の記述について、() の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

パンテチンは、(a) におけるコレステロール代謝を正常化する働きがあるとされ、LDLの分解を(b)、また、HDLを(c) させる効果を期待して用いられる。

	a	b	c
1	腎臓	促し	減少
2	肝臓	促し	増加
3	腎臓	抑制し	増加
4	肝臓	抑制し	減少
5	肝臓	促し	減少

【問 40】

次の表はある強心薬に含まれている成分の一覧である。

6錠中			
ジンコウ末	100mg	リタン	10mg
レイヨウカク末	10mg	リュウノウ	30mg
サフラン	3mg	シンジュ末	12mg
ゴオウ	2mg	ニンジン	250mg

この薬に含まれる成分等に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a この製剤は、^か嚙まずに服用することとされている。
- b レイヨウカクは、中枢神経系の刺激作用による気つけの効果を期待して用いられる。
- c リュウノウは、中枢神経系の刺激作用による気つけの効果を期待して用いられる。
- d ゴオウは、強心作用のほか、末梢血管の拡張による血圧降下、興奮を静める等の作用があるとされる。

- 1 (a、b) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (c、d)

【問 4 1】

次の表は、ある痔疾用外用薬に含まれている成分の一覧である。

1 個 (2 g) 中	
アミノ安息香酸エチル	4 0 m g
酢酸トコフェロール	1 5 m g
グリチルレチン酸	2 0 m g
アラントイン	1 5 m g
タンニン酸	5 0 0 m g

この痔疾用外用薬に含まれる成分のうち、まれに重篤な副作用としてショック（アナフィラキシー）を生じることがあるものはどれか。

- 1 アミノ安息香酸エチル
- 2 酢酸トコフェロール
- 3 グリチルレチン酸
- 4 アラントイン

【問 4 2】

漢方処方製剤の乙字湯おつじとうに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a 通常、構成生薬としてカンゾウ、ダイオウを含んでいる。
- b 切れ痔、痔瘻の痔出血の症状に適すとされる。
- c まれに重篤な副作用として、肝機能障害、間質性肺炎を生じることがある。
- d 体の虚弱な人、胃腸が弱く下痢しやすい人では、悪心・嘔吐、激しい腹痛を伴う下痢等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	誤	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	誤	正

【問 4 3】

禁煙補助剤に関する記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 ニコチン置換療法は、ニコチンの摂取方法を喫煙以外に換えて、離脱症状の軽減を図りながら徐々に摂取量を減らし、最終的にニコチン摂取量をゼロにする方法である。
- 2 口腔内が酸性になると、ニコチンの吸収が促進されるため、コーヒーや炭酸飲料など口腔内を酸性にする食品を摂取した後、しばらくは使用を避けることとされている。
- 3 菓子のガムのように噛むと、唾液が多く分泌され、ニコチンが唾液とともに口腔粘膜から十分に吸収されて循環血液中に移行するため、この咀嚼方法が推奨されている。
- 4 禁煙補助剤により、ニコチン離脱症状を軽減しながら、徐々にその量を減らしていくこととし、初めから無理に減らそうとしないほうが、結果的に禁煙達成につながると思われる。そのため、長期間に渡って使用するほうがよいとされている。

【問 4 4】

女性ホルモンに関する記述について、() の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

月経周期は、種々のホルモンの複雑な相互作用によって調節されており、(a) で産生されるホルモンと、卵巣で産生される女性ホルモンが月経周期に関与する。

加齢とともに卵巣からの女性ホルモンの分泌が減少し、やがて妊娠可能な期間が終了することを(b) という。この前後には、(c) と呼ばれる移行的な時期があり、体内の女性ホルモンの量が大きく変動することがある。

	a	b	c
1	脳の下部	閉経	血の道症
2	副腎	更年期	血の道症
3	卵巣	更年期	不定愁訴
4	副腎	閉経	更年期
5	脳の下部	閉経	更年期

【問45】

婦人用薬と女性に現れる特有の症状に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 おりものは、膣や子宮に炎症や感染症を起こした場合にのみみられる。
- 2 漢方処方製剤の婦人用薬を数日間服用したが、症状の改善がみられなかったので、別のタイプの婦人用薬に変更した。
- 3 過度のストレスや、不適切なダイエット等による栄養摂取の偏りが、月経前症候群を悪化させる要因となることもある。
- 4 漢方処方製剤の婦人用薬では、通常、特有な生薬成分が配合されており、他の生薬成分を含有する医薬品とは配合成分が異なるため、併用しても重複摂取になることはない。

【問46】

以下の記述は、アレルギー用薬の成分に関するものである。記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a ビタミン成分は、皮膚や粘膜の炎症を和らげるとともに、健康維持・回復に必要な成分である。
- b 抗コリン成分は、交感神経の働きを抑えることによって、鼻汁分泌や、くしゃみを抑える成分である。
- c アドレナリン作動成分は、副交感神経を刺激して、鼻粘膜の充血や腫れ^はを和らげる成分である。
- d 抗ヒスタミン成分は、肥満細胞から遊離したヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることにより、ヒスタミンの働きを抑える作用を示す成分である。

	a	b	c	d
1	正	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	誤	正	誤	正

【問47】

アレルギーに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせはどれか。

- a アレルギー症状を軽減するには、日常生活におけるアレルゲンの除去・回避といった根源的な対応が重要である。
- b アレルギー症状が現れる前から予防的にアレルギー用薬を使用することを、減感作療法という。
- c アレルゲンが皮膚や粘膜から体内に入り込むと、その物質を特異的に認識した免疫グロブリンによって肥満細胞が刺激されて、ヒスタミン等の生理活性物質が遊離され、血管拡張や血管透過性亢進等がおこる。
- d 蕁麻疹は、アレルゲンとの接触以外に、皮膚への物理的刺激等によっても、アレルギー症状が現れることがある。

	a	b	c	d
1	誤	正	正	誤
2	正	誤	正	正
3	正	正	誤	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	誤	正	誤

【問48】

次の記述は、アレルギー用薬等に関するものである。正しいものの組み合わせはどれか。

- a 一般用医薬品には、アトピー性皮膚炎等による慢性湿疹、痒み等の症状に用いることを目的とするものはない。
- b 一般用医薬品のアレルギー用薬を、アレルギー症状が現れる前から予防的に使用してもよい。
- c 医薬品の使用中に、アレルギー症状が悪化・拡大した場合には、医薬品の副作用である可能性を考慮し、その医薬品の服用を中止して医療機関を受診することが望ましい。
- d 蕁麻疹や鼻炎等のアレルギー症状に対して、一般用医薬品のアレルギー用薬を、長期的な症状の緩和に用いてもよい。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

【問 4 9】

鼻炎用点鼻薬に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 剤型はスプレー式で、鼻腔内に噴霧するものだけである。
- b アドレナリン作動成分が配合された点鼻薬は、過度に使用されると、鼻づまりがひどくなりやすい。
- c スプレー式鼻炎用点鼻薬は、噴霧後に鼻汁とともに逆流する場合があるので、使用する前に鼻をよくかんでおく必要がある。
- d 一般用医薬品の鼻炎用点鼻薬の対応範囲に、蓄膿症は含まれている。

1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

【問 5 0】

点眼薬等の眼科用薬の使用方法に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 眼科用薬には、副作用として、目の充血や痒み、腫れが現れることがあるが、全身性の副作用はない。
- b 一般用医薬品の点眼薬は、一般点眼薬、抗菌性点眼薬、アレルギー用点眼薬に大別される。
- c 点眼後は、数秒間、まぶたを閉じて薬液を結膜囊内に行き渡らせる。その際、目頭を軽く押さえると薬液が鼻腔内へ流れ込むのを防ぐことができ、効果的である。
- d 一回使い切りタイプの防腐剤を含まない製品では、ソフトコンタクトレンズ装着時にも使用できるものがある。

1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

【問 5 1】

次の表はある点眼薬に含まれている成分の一覧である。

1 5 m L 中	
スルファメトキサゾールナトリウム	0. 6 0 g
イプシロン・アミノカプロン酸	0. 1 5 g
グリチルリチン酸二カリウム	0. 1 5 g

この点眼薬の適応症として考えられるものとして、正しいものはどれか。

- 1 まぶたのただれ
- 2 緑内障
- 3 目の乾きの改善
- 4 目の調節機能改善
- 5 花粉症

【問 5 2】

次の 1 ～ 5 で示される成分のうち、手指、皮膚の消毒のほか、器具等の殺菌、消毒にも用いられるものはどれか。

- 1 オキシドール
- 2 エタノール
- 3 次亜塩素酸ナトリウム
- 4 塩化ベンザルコニウム
- 5 ポピドンヨード

【問 5 3】

外皮用薬で鎮痛等を目的として用いられる成分に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 内服で用いられる解熱鎮痛成分と同様であるが、外用薬であるため、喘息の副作用を引き起こす可能性はない。
- 2 鎮痛効果を増すためには、長期連用をする必要がある。
- 3 殺菌作用はないため、皮膚感染症に対して効果がなく、痛みや腫れを鎮めることでかえって皮膚感染が自覚されにくくなるおそれがある。
- 4 外用薬の場合、妊婦又は妊娠していると思われる女性にも使用して差し支えない。

【問 5 4】

以下の外皮用薬に含まれる成分とその成分を配合する目的との関係について、正しい組み合わせはどれか。

- a 硝酸エコナゾール —— 抗真菌作用を有する（みずむし薬に配合）
- b 硫酸フラジオマイシン — 抗ヒスタミン作用を有する（皮膚の痒みを抑える）
- c ケトプロフェン —— ステロイド性抗炎症成分（痛みを抑える）
- d サリチル酸 —— 角質軟化作用を有する（いぼ、うおのめ、たこ）

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

【問55】

歯槽膿漏薬に関する記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせはどれか。

歯槽膿漏薬は、(a)、歯槽膿漏の諸症状の緩和を目的とする医薬品である。患部局所に適用する外用薬のほか、内服で用いる歯槽膿漏薬もある。内服薬は、(b)、(c)等が配合されたもので、外用薬と併せて用いると効果的なものである。

	a	b	c
1	歯痛	鎮痛成分	ビタミン成分
2	歯肉炎	抗炎症成分	ビタミン成分
3	歯痛	鎮痛成分	局所麻酔成分
4	歯肉炎	抗炎症成分	局所麻酔成分
5	歯肉炎	鎮痛成分	ビタミン成分

【問56】

次の記述は歯痛薬に配合される生薬成分を説明したものである。()の中に入れるべき正しい字句はどれか。

()は、アカネ科のクチナシの果実を用いた生薬で、抗炎症作用を期待して用いられる。

- 1 シコン
- 2 サンシン
- 3 カッコン
- 4 サンザシ
- 5 サイコ

【問57】

滋養強壯保健薬に関する以下の記述のうち、正しい組み合わせはどれか。

- a 滋養強壯保健薬は、体調の不調を生じやすい状態や体質の改善、特定の栄養素の不足による症状の改善、または予防を目的とした医薬品である。
- b カシウ、ゴオウ、ゴミン、ジオウ、ロクジョウ等の生薬成分は、医薬部外品に配合される生薬成分である。
- c 滋養強壯保健薬は、多く摂取したからといって適用となっている症状の改善が早まるものでなく、また、滋養強壯の効果が高まるものでもない。
- d ビタミン等の補給を目的とするものとして医薬部外品の保健薬があるが、それらの効能効果は、滋養強壯、虚弱体質の改善のほか、神経痛、しみ、そばかすの症状についても認められている。

- 1 (a、c) 2 (a、d) 3 (b、c) 4 (b、d)

【問58】

ビタミン剤に含まれる成分とその成分を配合する目的との関係について、正しいものの組み合わせはどれか。

- a 酪酸リボフラビン ———— 口角炎、口内炎、肌荒れ、湿疹^{しん}、手足のしびれの症状をやわらげる。
- b コンドロイチン硫酸 ———— 肝臓の働きを助け、肝血流を促進する働きがあり全身倦怠感^{けん}をやわらげる。
- c 塩酸チアミン ————— 神経痛、筋肉痛、関節痛（腰痛、肩こり等）、脚気の症状をやわらげる。
- d パルチミン酸レチノール — 目の乾燥感、夜盲症の症状をやわらげる。

- 1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)

【問59】

消毒薬の誤用、事故等による中毒への対処に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。

- 1 誤って飲み込んだ場合 —— 通常は多量の牛乳や水を飲ませるが、原末や濃厚液を飲みこんだ場合は、すぐに吐き出させる。
- 2 誤って目に入った場合 —— 酸やアルカリが目に入った場合は、酸はアルカリで、アルカリは酸で中和する。
- 3 誤って皮膚に付着した場合 — 流水をかけながら着衣をとり、石鹼を用いて流水で皮膚を十分に水洗する。
- 4 誤って吸入した場合 —— 意識がない場合は、その場で人工呼吸などをする。

【問60】

殺虫剤に含まれている殺虫成分、昆虫成長阻害成分、殺虫補助成分、忌避成分について、正しい組み合わせはどれか。

- 1 ピレスロイド系殺虫成分 — ジクロルボス
- 2 昆虫成長阻害成分 —— フェノトリン
- 3 殺虫補助成分 —— プロポクスル
- 4 有機リン系殺虫成分 —— ピペニルブトキサイド (PBO)
- 5 忌避成分 —— ディート